

特定自主検査記録表

3 年 間 保 存

書日 明行 証發 30 年 2 月 6 日 様式SR-EHC-01-D

証 明 書 發行No.	2-32	標章 No.	1091361
----------------	------	-----------	---------

建設業に係る特定特殊自動車排出ガスの排出
の抑制を図るための指針に基づく検査共用

メーカー名		ヤンマー建設機		管理No.		R4-093		使用者住所氏名又は名称		中城村字久場1991番地 町田機工株式会社			
型式		V1017		走行距離		_____ km		機械管理者氏名		町田宗才			
製造番号		0A583		稼働時間		1113 h		検査業者登録番号		第 1 7 号			
性能		0.04m³		車検有効期間		_____		検査業者又は事業者住所・名称		沖縄市登川3458番地 マチダテクノ(株)			
検査実施場所		マチダテクノ(株)		検査者氏名		辺野重 英介		責任者名		又吉 悟			
検査年月日		H30年2月6日											
区分		No.		検査箇所		検査内容		検査方法		検査結果			
										良 不良			
エンジン		1		本体		★ a 始動性		✓かかり具合、✓異音、✓予熱栓、✓ヒーターの作動		✓目視、✓操作、✓聴診			
						★ b 回転の状態		✓アクセルの作動、✓回転具合 ✓アイドリング回転 (1000 min ⁻¹)、無負荷最高回転 (2100 min ⁻¹)		✓目視、✓操作、✓聴診 ✓回転計			
						★ c 排気の状態		✓排気色、✓排気音、✓排気管、マフラー等のガス漏れ		✓目視、✓操作、✓聴診			
						★ d エアクリーナー		✓ケースの亀裂、✓変形、✓緩み、✓エレメントの汚れ、✓損傷、✓油量		✓目視、✓触診			
						★ e 締付け		シリンダーヘッド、マニホールド締付けボルト・ナットの緩み		トルクレンチ			
						★ f 弁すき間		弁すき間(吸最大 mm・最小 mm)(排最大 mm・最小 mm)		シックネスゲージ			
						★ g 圧縮圧力		圧縮圧力 (MPa) 1 2 3 4 5 6		圧縮圧力計			
						★ h 噴射圧力		噴射圧力 (MPa) 1 2 3 4 5 6		ノズルテスター			
						★ i 噴霧状態		噴霧状態 良○・不×		目視、ノズルテスター			
						★ j 過給器		異常振動、異音、ガス漏れ、潤滑油漏れ		目視、聴診			
						★ k エンジンマウント		ブラケットの亀裂、✓変形、✓緩み、✓脱落、✓防振ゴムの損傷、✓劣化		✓目視、✓レンチ等			
走行装置		2		潤滑装置		★		✓油量、✓汚れ、✓油漏れ、✓エレメントの汚れ、✓損傷		✓目視			
		3		燃料装置		★		✓燃料漏れ、✓ホースの損傷、✓老化、✓エレメントの汚れ、✓目詰まり		✓目視			
		4		冷却装置		★		✓水量、✓汚れ、✓水漏れ、✓目詰まり、✓ホース損傷、✓老化、✓ラジエーターキャップ機能、✓損傷、✓結果不良、✓たわみ、✓摩耗、✓損傷、✓ファン、カバー、ダクト等の亀裂、✓損傷、✓変形、✓取付		✓目視、✓触診、✓スケール			
		5		電気装置		★		✓充電装置機能、✓バッテリー液量、✓端子緩み、✓腐食、✓配線緩み、✓損傷		✓目視、✓触診、✓電圧電圧計			
		6		エアコンプレッサー				異音、異常振動、エア漏れ、油漏れ、タンク内凝水、作動		目視、操作、聴診、圧力計			
		7											
制動		8		起動輪、遊動輪				✓亀裂、✓変形、✓摩耗、✓異音、✓異常発熱、✓取付、✓油漏れ		✓目視、✓聴診、✓触診、✓探傷器			
		9		上部ローラー、下部ローラー				✓亀裂、✓変形、✓摩耗、✓異音、✓異常発熱、✓取付、✓油漏れ		✓スケール、✓パス			
		10		履 帯				✓シュー亀裂、✓変形、✓摩耗、✓取付、✓リンク、✓シュー亀裂、✓摩耗、✓ピッチ長、✓たわみ、✓ピン抜け、✓ゴムパット(欠け・老化・摩耗)		目視、スケール、探傷器			
		11		ゴム履帯				✓スチールコード切断、✓損傷、✓ゴム(欠け・老化・摩耗)、✓金脱落、✓たわみ		✓目視、✓スケール			
		12		履帯調整装置				✓作動、✓調整ボルト等の亀裂、✓変形、✓腐食、✓摩耗、✓シリンダー油漏れ		✓目視、✓操作、✓探傷器			
		13		走行減速機				✓異音、✓異常発熱、✓ケース亀裂、✓損傷、✓取付、✓油量、✓汚れ、✓油漏れ		✓目視、✓聴診、✓触診			
		14											
作業装置		15		駐車ブレーキ				✓効き		✓目視、✓操作			
		16											
		17		ブーム、アーム、バケット、リンク				✓亀裂、✓変形、✓摩耗、✓がた、✓取付、✓シール損傷		✓目視、✓操作、✓ギス、✓探傷器			
		18		ツース				✓脱落、✓がた、✓摩耗		✓目視、✓触診			
		19		ブレード				✓亀裂、✓変形、✓摩耗、✓がた、✓取付		✓目視、✓操作、✓探傷器			
油圧装置		20		フック				✓変形、✓摩耗、✓亀裂、✓外れ止め機能、✓損傷		✓目視、✓操作、✓ギス			
		21											
		22		作動油タンク				✓油量、✓汚れ、✓油漏れ、✓エア漏れ、✓ブリーザ目詰まり、✓取付		✓目視、✓石けん水			
		23		フィルター				✓汚れ、✓目詰まり、✓油漏れ		✓目視			
		24		配管 (ホース類、高圧パイプ)				✓亀裂、✓損傷、✓老化、✓ひび割れ、✓ねじれ、✓油漏れ、✓取付		✓目視			
		25		油圧ポンプ				✓油漏れ、✓異常振動、✓異音、✓異常発熱、✓負荷時吐出量、✓吐出圧		✓目視、✓聴診、✓触診、✓テスター			
		26		油圧モーター				油漏れ、異常振動、異音、異常発熱		✓目視、✓聴診、✓触診、✓テスター			
		27		油圧シリンダー				作動、油漏れ、伸縮量、打痕、亀裂、曲がり、擦り傷		✓目視、✓操作、✓スケール、✓マイナー			

3 年 間 保 存

R4-093

書目 30年2月6日 様式SR-EHC-02-D

証 明 書 発行No.	2-32	標章 No.	1091361
----------------	------	-----------	---------

区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	検査結果		補修内容		
					良	不良			
油圧装置	28	コントロール弁 (方向、圧力、流量、逆止め、電磁弁)	作動、油漏れ、取付、異音、異常発熱	目視、操作、聴診、触診	✓				
	29	回転継手	回転状態、油漏れ、異音		✓				
	30	オイルクーラー	冷却効果、目詰まり、変形、損傷、油漏れ モーターの異常振動・異音・異常発熱	目視、聴診、触診	✓				
	31								
操作	32	操作レバー	ストロークがた	目視、操作、スケール	✓				
	33								
安全装置・車体関係等	34	下部架台フレーム、ブラケット	亀裂、変形、しゅう動部摩耗、取付	目視、スケール、探傷器	✓				
	35	旋回フレーム、ブラケット	亀裂、変形、取付	目視	✓				
	36	旋回ベアリング、旋回ギヤ	引っ掛かり、異音、ギヤ亀裂・摩耗、取付、シール損傷	目視、操作、聴診、 オールクレンチ	✓				
	37	旋回減速機	異音、異常発熱、油量、汚れ、油漏れ、取付	目視、操作、聴診、触診	✓				
	38	旋回ロック	効き、亀裂、損傷、油漏れ、ホース損傷、老化		✓				
	39	レバーロック、ペダルロック	効き、損傷、変形	目視、操作	✓				
	40	キャブ、カバー	亀裂、変形、腐食、雨漏り、ドア等開閉、ロック・キー作動、 ガラスのがた・損傷		✓				
	41	カウンターウエイト	取付	目視、スケール	✓				
	42	座席(調整機構、シート、シートベルト)	作動、損傷、取付	目視、操作	✓				
	43	昇降設備、滑り止め	亀裂、損傷、変形、取付	目視	✓				
	44	表示板	損傷、取付		✓				
	45	灯火装置、警告器、 方向指示器 窓拭き器、デフロスター等	作動、取付、レンズ損傷、浸水	目視、操作	✓				
	46	計器類	作動	目視	✓				
	47	後写鏡、反射鏡、カメラ	汚れ、損傷、写影		—	—	—		
48	給油脂	給油脂状態、自動給油脂装置作動	目視、操作	✓					
49									
総合	50	総合テスト	作動、異常振動、異音、異常発熱	操作、聴診、触診	✓				
排ガス装置	★	一酸化炭素等発散防止装置	触媒等の緩み・損傷、排気温度警告装置の配線緩み・損傷、排ガス減少装置のホース・パイプの緩み・損傷	目視、聴診、レンチ等	—	—	—		
事業者等への要請	次回特定自主検査実施年月 <u>H31 年 2月</u>								
	<u>使用前は保点検査を行って下さい</u>								
補修等の措置内容									
照合No.	補修箇所及び不具合状況		補修年月日	補修実施内容					
1-6	エアリーチ・エレメントの汚れ		H30年2月6日	エアエレメントの清掃					
備考	1. 検査の結果、異常のないものは、検査結果欄の良に、また異常なものは不良の欄に「✓」印の記号を記載する。 2. 検査結果が異常なものについては、検査内容、検査方法欄の該当項目を○で囲む。 3. 検査内容に*印が付けられた項目は、関連機能が正常であれば検査を省略できる。省略した場合は*印を○で囲む。 4. 検査の結果、補修等を行った場合は、補修内容欄に右の記号に従って記載する。また補修内容等の詳細説明を要するものについては、補修等の措置内容欄に記載する。 5. ★印は「安衛法」と「建設業に係る特定特殊自動車排出ガスの抑制を図るための指針」との共通検査項目であり、★★印は同指針のみの検査項目である。								
	記号	交換	分解交換	修理	調整	締付	清掃	給油水	該当なし
		×	⊗	△	A	T	C	L	—